

医師による医療製品開発と 社会実装のための起業の実際

—第4回 医療機器開発シンポジウム—

慶應義塾大学橋渡し研究支援拠点では、昨年度に引き続き、医療製品開発人材の啓発を目的と致しまして、「医師による医療製品開発と社会実装のための起業の実際」をテーマにシンポジウムを開催いたします。

医療現場のニーズを臨床現場から直接吸い上げることのできる臨床医発の医療製品開発、さらには社会実装の選択肢としての起業

が近年活性化しています。本シンポジウムでは、先人の医師起業家をお招きし、会社の運営から、アカデミックな立場との両立まで、開発を推進していく過程で生じる課題について、ご講演・ディスカッションをしていただき、共通理解を深めることを目的としています。本シンポジウムが、すでに起業している、また、これから起業を検討している研究者の一助となれば幸いです。

プログラム

18:00 開会の挨拶

許斐 健二

慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター 拠点統括 教授

18:05-18:25 慶應発スタートアップの創出・成長支援の取り組み

現在、慶應義塾では慶應義塾スタートアップを支援する様々な取り組みを開始しており、その内容をご紹介します。

新堂 信昭

慶應義塾大学イノベーション推進本部
スタートアップ部門長 特任教授



【略歴】

慶應義塾大学大学院医学研究科修了。アステラス製薬株式会社 創薬研究部門にてオンコロジー領域を中心とした上市薬 (XOSPATA®) および複数の開発化合物品の創出に貢献。オープンイノベーション部門、CVC部門にて欧米でのアカデミアやスタートアップとの提携や投資実行、ジョイントベンチャー設立等を推進。研究企画部にて産官学連携に関わるアライアンスの統括マネジメントを経て、2022年3月より現職。博士(保健学)。NEDO SSAフェロー。

18:25-20:05 医師による医療製品開発と起業の実例紹介

アイデア創出から研究開発、起業・資金調達・チームビルディング・業事承認に向かうまでのヒストリーをご紹介します。

中島 大輔

株式会社グレースイメージング 代表取締役
慶應義塾大学医学部 整形外科科学教室 特任助教



【略歴】

2008年慶應義塾大学医学部卒業。2015年慶應義塾大学医学研究科修了。大学院在籍時に汗中乳酸をリアルタイムに計測可能な技術に出会い、2018年同技術の展開を行う「グレースイメージング」創業。脈拍や体温の様な、一般人が目にする人体のバイタルデータに、近年医療やスポーツ運動領域への適応を目論んで開発がすすむバイオセンサのデータが加わる未来を目指す。医師・博士(医学)・整形外科専門医・脊椎脊髄外科専門医

佐竹 晃太

株式会社CureApp 代表取締役社長
日本赤十字社医療センター呼吸器内科医



【略歴】

慶應義塾大学医学部卒業。呼吸器内科医として臨床経験を積み、呼吸器疾患を中心に内科診療に従事。中国上海にある中欧国際工商学院(CEIBS)へ留学後、経営学修士号(MBA)修了。米国ジョーンズ・ホプキンス大学公衆衛生大学院にて治療用アプリの費用対効果等の医療インフォマティクス研究に従事し、公衆衛生学修士号(MPH)修了。グローバルな視点で医療や経営を捉える経験を積み、帰国後、2014年に株式会社CureAppを創業。現在も日本赤十字社医療センター呼吸器内科で診療を継続し、医療現場に立つ。

羽藤 晋

株式会社セルージョン 代表取締役

【略歴】

眼科専門医。再生医療認定医。眼科医として臨床および研究に携わる。
1998年 慶應義塾大学医学部卒
2002年 慶應義塾大学医学部助手(眼科学)
2013年 慶應義塾大学医学部博士課程卒(外科学眼科学)
2013年 慶應義塾大学医学部特任講師(眼科学)
2015年 株式会社セルージョン 代表取締役



伊藤 雅昭

国立がん研究センター東病院 副院長 大腸外科長

医療機器開発推進部門長・先端医療開発センター 手術機器開発分野長併任

【略歴】

1993年千葉大医学部卒。1994年社会保険船橋中央病院外科医員、1995年国立がんセンター東病院大腸外科レジデント、1998年久留米大免疫学教室助手、2000年国立がんセンター東病院大腸外科医員、2009年同病院消化器科医長、2012年同病院大腸外科外来医長等を経て、2015年同病院大腸外科科長、先端医療開発センター手術機器開発分野長(併任)、2017年医療機器開発センター手術機器開発室長(併任)、2022年同病院副院長研究担当(医療機器)、現在に至る。



20:05-20:10 休憩

20:10-20:30 Roundtable Discussion

- ・会社の運営戦略(チームビルディング、資金調達、海外戦略)
 - ・成果発表(学術的なアウトプットの出し方、企業としての関わり方)
 - ・医療機器開発エコシステムの問題点
- *トピックは変更になることもあります

20:30 閉会の挨拶

長谷川 奉延

慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター センター長 教授

慶應義塾大学病院臨床研究推進センター主催

医師による医療製品開発と社会実装のための 起業の実際

—第4回医療機器開発シンポジウム—

日時: **2023年3月9日(木) 18:00~20:30**

形式: Hybrid開催予定(現地: 慶應義塾大学病院 総合医科学研究棟1階ラウンジ
【先着30名程度予定。状況により変更の可能性あり】)

対象: 医療機器等製品開発/起業に関心のある研究者・学生・
アカデミア関係者、病院関係者、企業等

参加方法: 下記URLまたはQRコードより、本イベント参加フォームへ
アクセスしてお申し込みください。現地参加ご希望の
場合もこちらからご登録ください。(要登録・無料)

https://keio-univ.zoom.us/webinar/register/WN_4ml3TxxORU-3XewhK4-u6A



お問合せ先 慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター TR部門(担当: 松岡、一木)
TEL: 03-5363-3474 (内線63744) Mail: apply-tr@ctr.hosp.keio.ac.jp